

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成 28 年 9 月 21 日
発信課	文化振興課
担当者	香月（カツキ）
連絡先	電 話 内線 8-6329
	F A X
	E-mail

分 類	<input checked="" type="radio"/> イベント・行事 <input type="radio"/> 募集 <input type="radio"/> 契約・入札 <input type="radio"/> 会議・説明会 <input type="radio"/> その他 （該当する分類を囲むこと。）
日 程	平成 28 年 10 月 15 日（土曜日）～平成 29 年 1 月 15 日（日曜日）
発表項目 (行事名)	企画展「井上靖と西域紀行Ⅱ～敦煌～」展の開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>企画展「井上靖と西域紀行Ⅱ～敦煌～」展を開催します。 市民への周知を図るため、取材及び報道についてよろしくお願い申し上げます。</p> <p>期間 平成 28 年 10 月 15 日（土曜日）～平成 29 年 1 月 15 日（日曜日） 場所 井上靖記念館（旭川市春光 5 条 7 丁目） 開館日 毎週火曜日から日曜日まで（毎週月曜日は休館、ただし月曜日が祝日の場合は翌日休館。12 月 29 日～1 月 4 日までは休館。） 開館時間 午前 9 時から午後 5 時まで（入館は 4 時 30 分まで） 展示内容</p> <p>井上靖は昭和 34 年に小説『敦煌』を発表し、日本中に「シルクロード」のロマンを浸透させました。学生時代からの憧れの地であった敦煌ですが、この中国の辺境地を初めて訪れることが出来たのは、それから約 20 年後の昭和 53 年のことでした。井上靖にとって敦煌は、まさに「足を踏み入れることのできぬ聖地」だったのです。</p> <p>本展は、平成 27 年 2 月～5 月まで開催した、「井上靖と西域紀行Ⅰ」の続編となります。今回は「敦煌」に焦点をあて、井上靖の紀行記や詩、作家自身が撮影した写真、初めて敦煌を訪れた際の取材ノート、小説『敦煌』執筆時の参考資料等を展示し、「小説『敦煌』誕生の背景」と「井上靖の敦煌に対する思い」を伝えます。</p>
添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無  企画展チラシ
報道（取材）に当たってのお願い	その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。 電話 0166-51-1188 FAX 0166-52-1740 担当 佐藤
備 考	10 月 22 日（土曜日）13 時 30 分より、日中文化交流協会理事佐藤純子氏による「ギャラリートーク 井上靖と西域を旅してⅡ」を開催します。

企画展

# 井上靖と西域紀行II

## 敦煌

### 行けぬ聖地ゆえの情熱

2016年

10月15日(土)

2017年

1月15日(日)

写真：敦煌莫高窟の交脚弥勒

撮影：井上靖

休館日 毎週月曜日※ただし月曜が祝日の場合は翌日  
12月30日～1月4日

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

主催：井上靖記念館 共催：一般財団法人 井上靖記念文化財団

協力：一般財団法人 日本中国文化交流協会・北海道地図株式会社

神奈川近代文学館 公益財団法人神奈川文学振興会

## 井上靖記念館

指定管理者 特定非営利活動法人 旭川文学資料友の会

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-51-1188 FAX 0166-52-1740

<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

# 井上靖と西域紀行Ⅱ ～敦煌～

## 敦煌

敦煌は、かつてシルクロードの一拠点として栄えた都市です。ここに都市が造られたのは、今から2000年以上前、漢の武帝が西域経営と対匈奴作戦の最前線基地とするためでした。ラクダの背に絹を積み、隊商たちが敦煌から流沙の世界へと旅立ちましたが、そこは法顕が「上に飛鳥なく下に走獣なき沙の海」、玄奘三蔵が「城郭は巋然たれども人煙は断絶せり」と表した過酷な死の世界でした。商人だけではなく、インドに仏教を求めた僧侶も数多く、敦煌はまさに東西文化交流の要衝であり、人々の夢とロマンが詰まった聖地でもありました。特に千仏洞とも呼ばれる莫高窟には、仏教とともに伝来した西域諸国の文化流入の跡を今に残しています。

## 足を踏み入れることのできぬ聖地

井上靖は昭和34年に小説『敦煌』を発表し、日本中に「西域」「シルクロード」のロマンを浸透させました。学生時代から憧れの地であった敦煌ですが、この中国の辺境地を初めて訪れることが出来たのは、それから約20年後の昭和53年のことでした。

井上靖にとって敦煌は、まさに「足を踏み入れることのできぬ聖地」だったのです。



「鳴沙山からの展望」 撮影：井上靖

## 井上靖の敦煌に対する思い

本展は、平成27年に開催した「井上靖と西域紀行Ⅰ」の続編となります。前回「西域とは？」という部分から、西域の玄関口である「河西回廊」までを取り上げましたが、今回は西域の中でも「敦煌」に焦点をあて、井上靖のエッセーや詩を中心に紹介する他、作家自身が撮影した写真、取材ノート、小説『敦煌』執筆時の参考書籍等、敦煌関連資料を多数展示します。「井上靖の敦煌に対する思い」や「小説『敦煌』誕生の背景」を感じてください。



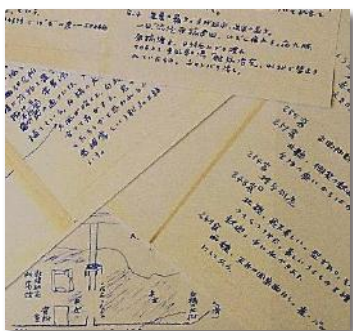
「莫高窟と防砂林」 撮影：井上靖



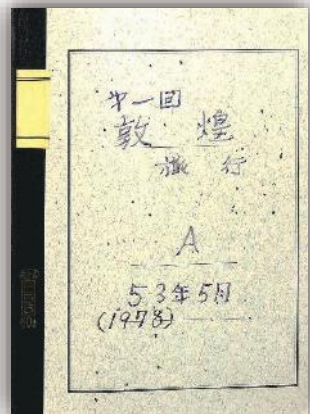
「130窟 倚坐弥勒大仏」 撮影：井上靖



「敦煌研究院名誉院長(敦煌文物研究所初代所長) 常書鴻夫人 李承仙の模写」



「第一回敦煌旅行ノートA」 初めて敦煌を訪れた時の記録



## ■企画展関連講座のご案内■

演 題：ギャラリートーク「井上靖と西域を旅してⅡ」  
 講 師：佐藤 純子氏 (一財)日中文化交流協会理事  
 日 時：平成 28 年 10 月 22 日(土)午後 1 時 30 分～  
 場 所：井上靖記念館ラウンジ  
 入館料：無 料 定員：50 名  
 申 込：電話でお申込みください



※昨年のギャラリートークが大好評だった、佐藤純子氏を再びお招きし、井上靖と共に中国各地を旅した際のエピソードを語っていただきます。

## 井上靖記念館

〒070-0875  
 北海道旭川市春光5条7丁目  
 TEL 0166-51-1188 FAX 0166-52-1740  
<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

	個人	団体	パスポート
一 般	200 円	160 円	400 円
高 校 生	100 円	80 円	200 円
中学生以下	無 料		

※ 70 歳以上の旭川市民の方は無料です。  
 ※ 「団体」観覧料は 20 名以上に適用されます。  
 ※ 「パスポート」は最初に観覧した日から 1 年間有効で、その期間中に何度でも観覧が可能です。  
 ※ その他、障がいのある方等への免除制度があります。

## 【アクセス】

- ◆旭川電気軌道バス (約 20 分～25 分)
  - ・「旭川駅前」バス停発 5 番 22 番
  - ・「1 条通 7 丁目」バス停発 22 番 80 番
  - ※いずれも「春光園前」バス停下車すぐ。
- ◆タクシー
  - ・旭川駅から約 15 分～20 分
- ◆自家用車
  - ・道央自動車道旭川鷹栖インターより約 10 分
- ◆駐車場
  - ・普通車 17 台 大型バス 2 台

